

府中版の自転車損害賠償保険を
創設できないか

手軽に加入できる保険について
情報収集を行いたい

奈良崎 久和 議員(公明)

安心して自転車を利用できるまちの実現に向けて、道路整備などのハード面でのような取組を行っているか。

都市整備部長 かえで通りの一部の歩道を改良し、視覚的に自転車と歩行者を分離する整備を行っているほか、警視庁が中河原駅周辺などで、自転車が行き交うべき部分を路面表示した自転車ナビマー



▲かえで通りの歩道

クを設置している。議員 自転車に関わる事故では、賠償額が高額になるケースが増えている。市でも市民に損害賠償保険の加入を呼びかけていると聞くが、加入の義務化も視野に入れ、市民が加入しやすい府中版の保険を創設できないか。

生活環境部長 義務化を進めるには様々な課題があることから、自転車利用者が手軽に加入できる保険について情報収集を行いたいと考えている。

精神疾患のある方に関する
市への連絡にスムーズな
対応ができる体制をつくれな

保健所等と連絡を密に行い
連携体制強化に努めたい

西村 陸 議員(公明)

精神疾患で医療機関に掛かっている患者数は全国で320万人に上っており、

連携しながら家族全体を支援していくかといった課題がある。

議員 精神疾患のある方が関係機関に把握されていない場合、近隣とのトラブルに発展することがあるため、そのような方に関する市への連絡に対しよりスムーズに対応できる体制をつくれな

福祉保健部長 精神疾患のある方を家庭内で見守

ってきた方が高齢になったなどの問題が発生した場合、いかに関係機関と

密に行い、連携体制の強化に努めていきたい。

常任委員会の審査報告から

総務委員会

第79号議案

府中市行政不服審査会条例

この議案は、公正性及び利便性の向上を図ることを目的とする行政不服審査法の全部改正に伴い、府中市行政不服審査会について必要な事項を定めるため、新たに条例を制定するもの

主な内容として、「審査会は、学識経験を有する者から、市長が委嘱する委員9人以内で組織される」「会議については会長が招集し、過半数の委員の出席がなければ開催できない」「審査会には部会を置くことができ、部会の議決をもって審査会の議決とすることができ、等の説明があった。

質疑に対して、「同法の改正により、不服申し立てを可能とする期間が60日から90日に延びたことや審理員を置くこと、第三者機関として行政不服審査会を置くことが主な変更点となる」「市の手続きにおいては、審理員や第三者機関を置くことと、従来の手続きに比べて公正性が向上することとなる」等の答弁があった。

審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

文教委員会

第90号議案

府中市郷土の森博物館における指定管理者の指定について

この議案は、府中市郷土の森博物館において管理を行わせる者を指定するもの

主な内容として、「指定管理者は府中市郷土の森博物館運営グループで、指定期間は平成28年4月1日から40年3月31日までである」等の説明があった。

質疑に対して、「運営については、天文事業を株式会社五藤光学研究所が、そのほかの事業を引き続き財団法人府中文化振興財団が行う。同研究所の技術や情報量、運営実績と同財団が築き上げた信頼関係や事業展開の両者を合体することで更に斬新な事業展開が期待できるため、共同運営を行う」「期間のうち最初の2年間は天文事業の運営準備として検証を行い、その後の10年間は長期的な視野のもと、博物館における人材育成や事業展開、設備投資等を行っていく」等の答弁があった。審査の結果、本案については、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

厚生委員会

第85号議案

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部の施行に伴う関係条例の整備に関する条例

この議案は、社会保障・税番号制度において、個人番号と法人番号の利用が開始されることに伴い、関係条例の規定を改正する必要があることから、新たに条例を制定するもの

主な内容として、「市民税の減免申請書など、各申請書等の記載事項に個人番号または法人番号を追加する」等の説明があった。

質疑に対して、「住民基本台帳カードは、個人番号カードが発行された時点で回収する」「個人番号カードの再発行に係る手数料の金額は、800円を予定している」等の答弁があった。

委員から、「個人番号の記入などについて市民にしっかりと周知する必要があると考え、本案に賛成する」「法案そのものに異議があるため、本案に反対する」等の意見があった。

審査の結果、本案については、賛成多数により、原案のとおり可決すべきものと決定した。

建設環境委員会

第92号議案

府中駅南口市営駐車場における指定管理者の指定について

この議案は、府中駅南口市営駐車場において管理を行わせる者を指定するもの

主な内容として、「指定管理者は株式会社府中駐車場管理公社で、指定期間は平成28年4月1日から33年3月31日までである」等の説明があった。

質疑に対して、「府中駅南口市営駐車場の売上げについて、29年度以降は、再開発工事の完了により、徐々に上昇するものと公社では見通している」「公社から、だれでもトイレの設置や電子マネーを利用した精算システムの導入などについて検討していきたいとの意見があった」等の答弁があった。

委員から、「利便性の向上に向けて取り組むことを期待して、本案に賛成する」「経営に当たって、地域への貢献に努力することをお願いし、本案に賛成する」等の意見があった。審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

特別委員会の中間報告から

基地等跡地対策特別委員会

調布基地跡地の状況について、調布飛行場から離陸した航空機の墜落事故に関し、市では、調布飛行場の安全対策や管理運営の適正化について、都、調布市、三鷹市と協議を継続したいと考えている。

府中基地跡地留保地の状況について、市は府中基地跡地留保地活用基本方針(案)を作成しており、主な内容として、現状や課題、活用の基本理念と基本原則、想定しうる活用方法、利用計画策定に向けたスケジュール等が示されている。今後は、パブリックコメントを実施後、基本方針を策定し、平成28年度には利用計画の素案を作成したいと考えているなどの報告があり、これを了承した。

再開発対策特別委員会

府中駅南口再開発事業に関し、公共施設工事について、新たに必要工事等に対応するため、市の負担額が約5億9500万円の増となる。また、同駅南口券売機室の移設工事費は、約1億5000万円を見込んでいます。公共公益床の内装工事については、平成27年度と28年度で予算を計上しているが、組合のスケジュールに遅延が生じたため、27年度中に契約の手続きができず、28年度と29年度での対応が必要となるなどの報告があった。

委員から、「工期の件等で丁寧な説明を要望する」等の意見があり、議会閉会中に委員会を開催することを確認し、これを了承した。

市庁舎建設特別委員会

市庁舎建設について、設計作業における地盤調査は、より精度の高い工事概算費の積算に向けて9か所で行うもので、平成27年度と28年度に分けて実施する。

27年10月11日に開催した新庁舎建設シンポジウムでは、設計者による基調講演のほか、設計者や選定委員会の委員長、市長によるパネルディスカッションを行い、約240人の方が来場した。

また、オフィスレイアウト設計等業務の受託業者は、サインに関する課題の解決策が明確であったことなどが選定委員会でも評価されたため、株式会社岡村製作所立川支店に決定しているなどの報告があり、これを了承した。